

第10回

全国こども民俗芸能大会

民俗芸能で広がる子どもの世界

2008年8月23日(土)
日本青年館大ホール
午後1時半開場 午後2時開演

豊かな心を育む文化を次世代へ

第5回
伝統文化
研修セミナー
2008

8月23日(土)/24日(日)

主催 社団法人 全日本郷土芸能協会

後援：文部科学省 ペルー共和国大使館 青森県教育委員会 神奈川県教育委員会 富山県教育委員会 滋賀県教育委員会 奈良県教育委員会
島根県教育委員会 福岡県教育委員会 独立行政法人教員研修センター 全国民俗芸能保存振興市町村連盟 (財)伝統文化活性化国民協会
(財)日本青年館 日本青年団協議会 (株)教育新聞社

助成 日本財団 *競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します。



◎北海道・東北ブロック
南部駒踊
青森県八戸市 高館駒踊保存会



◎関東ブロック
いなりっこ
神奈川県三浦市 三浦いなりっこ保存会



◎関東ブロック
小田原囃子
神奈川県小田原市 小田原囃子多古保存会



◎近畿・東海・北陸ブロック
氷見網起し木遣り
富山県氷見市 氷見網起し木遣り保存会子供会

ごあいさつ



社団法人 全日本郷土芸能協会
理事長 菴谷 利夫

今年で記念すべき第10回目を迎えることとなりました「全国こども民俗芸能大会」は、当協会が社団法人の認可を受けた平成7年以前より計画していた事業です。平成11年に漸く「第1回こども民俗芸能大会」を、東京と神奈川の子どもたち5団体を迎えて開催し、小さな一歩を踏み出しました。この事業は、民俗芸能を伝承している子どもたちに、芸能披露する機会を提供することが直接的な目的ではありますが、これまで民俗芸能に触れたことのない東京の子どもたちや広く一般の皆さんにも民俗芸能の良さ、楽しさを認識して頂くことも大切な目的の一つです。生き生きとした子どもたちの舞台を観て、都会で暮らす人々に深い感動を与えていることがアンケートからも伺うことが出来ます。また、出演した子どもたちからも東京の大舞台での披露が活動の励みとなり、貴重な体験だったという感想が寄せられています。

私たちは地域文化としての民俗芸能・郷土芸能の持つ力を強く感じております。それは、生きていくうえでとても大切なことが自然と肌で感じられることです。お祖父さん、お父さんや先輩たちとの世代間交流で育まれる心、学校、民俗芸能の保存会など地域内の連携の中で育てられる協調性、社会性などなど、正に第5回目となる「伝統文化研修セミナー」のテーマである「豊かな心を育む文化」ではないでしょうか。このセミナーは、第6回大会より本大会と併催する形で、学校や地域で民俗芸能に取り組む子どもたちの事例発表を通して、学校教育と民俗芸能の伝承活動とのかかわり方などを探るセミナーです。文化や伝統を大切に作る心、そんな豊かな心を育む「民俗芸能」を次世代へ繋げる一助になればと思っております。

今年も各都道府県教育委員会から多くのご推薦を頂きました。選考委員会を経て選ばれた8団体は、どの芸能もそれぞれの郷土で生まれた特色ある芸能で、子どもたちは郷土の誇りを胸に堂々と披露してくれることでしょうか。第8回大会より在日の海外芸能団体にも参加して頂いております。国際文化交流や国際理解の一助にも大いに期待が持てます。

最後になりましたが、文部科学省をはじめご後援を頂きました各関係団体の皆様、第3回大会から助成を頂いております日本財団、そして日々練習を重ねてきた子どもたちとご父兄、保存団体の皆様へ厚く御礼申し上げます。



出演団体選考委員会
委員長 宇野 小四郎

地域で生まれ伝えられてきた民俗芸能を伝承したこども達が全国から集って、その生き生きとした姿を披露してくれる「全国こども民俗芸能大会」も10回目を迎えました。

平成11年（1999）社団法人全日本郷土芸能協会の会員の皆さんの協力も得る中で、民俗芸能を伝承しているこども達の団体を掘り起し、出演を依頼するという手作りで始まった会ですが、その舞台はご覧頂いた方々の感動を呼び、広く注目されるようになって参りました。第4回からは「全国」という文字が会の名称に加わり、都道府県の教育委員会から推薦された団体から出演団体を選出する現在の形になりました。

本年は全国47都道府県教育委員会より55団体の推薦を頂き、北海道・東北ブロックからは青森県八戸市の高館駒踊保存会「南部駒踊」、関東ブロックから神奈川県三浦市の三浦いなりっこ保存会「いなりっこ」、神奈川県小田原市の小田原囃子多古保存会「小田原囃子」、近畿・東海・北陸ブロックからは富山県氷見市の氷見網起し木遣り保存会子供会「氷見網起し木遣り」、奈良県曾爾村の曾爾村立曾爾中学校「曾爾の獅子舞」、中国・四国ブロックからは島根県益田市高津神楽社中子ども神楽部「石見神楽」、九州・沖縄ブロックからは福岡県柳川市の舟舞台囃子保存会「沖端水天宮舟舞台囃子」、それに在日の海外芸能団体として滋賀県大津市の日本・ペルー文化実行委員会「ペルーの民族舞踊」の8団体に出演して頂きます。

毎年この舞台を楽しみにしている方もおいでだと思います。今年もこども達は元気にやってきました。そして力一杯演じます。この「民俗芸能で広がる子どもの世界」をテーマに併催される「第5回伝統文化研修セミナー」は日本の伝統的文化・芸能とこども達と地域の今と未来が語られる充実した内容となっておりますので、関心のある方々の参加をお待ちしております。

最後になりましたが、御後援、御協力を頂きました関係諸団体、御力添えを頂いた多くの皆様に心より御礼申し上げます。

第10回全国こども民俗芸能大会

オープニング

- 第一景 曾爾の獅子舞
「神前の舞（伊賀見地区）」「神前の舞（長野地区）」「剣の払い（伊賀見地区）」
「荒舞『笹の舞（伊賀見）・新短（長野）』」
- 第二景 小田原囃子
「打出し」「屋台ばやし」「昇殿」「神田丸」「鎌倉」「仕丁目」
- 第三景 氷見綱起し木遣り
「氷見綱起し木遣り」
- 第四景 石見神楽
「益田越中守」

休憩

- 第五景 沖端水天宮舟舞台囃子
「上り」「下り」「留り」
- 第六景 ペルーの民族舞踊
「マリネーラ」「フェスティホ」
- 第七景 いなりっこ
「恵比寿の舞」
- 第八景 南部駒踊
「高館駒踊」「扇舞」「七ッ道具」

フィナーレ

司会 齊藤みどり

出演団体選考委員会委員

委員長	宇野小四郎	(財)現代人形劇センター 顧問
委員	芳賀日出男	写真家
委員	星野 紘	東京文化財研究所 名誉研究員
委員	掛谷 昇治	(財)日本青年館 公益事業部次長
委員	中嶋 春洋	元国際交流基金常務理事
委員	城井 智子	(社)全日本郷土芸能協会 専務理事



■1日目

8月23日(土)

日本青年館・大ホール

11時開会

第10回全国こども民俗芸能大会

の舞台稽古見学と解説

解説 星野 紘 (東京文化財研究所名誉研究員)

14時 「第10回全国こども民俗芸能大会」 公演鑑賞

■2日目

8月24日(日)

日本青年館・中ホール

13時開会

主催者挨拶 理事長 菴谷利夫

★基調講演

「子どもがつくるこどものまつり」

講師 芳賀日出男 (写真家)

★事例発表① 東京都 練馬区民俗芸能協議会「民俗芸能の後継者育成」

副会長 中村理行

事例発表② 愛知県教育委員会「ふるさと遺産サポート事業」

生涯学習課文化財保護室主任主査 佐藤章

事例発表③ 奈良県曾爾村 伊賀見奉舞会「曾爾の獅子舞」

会長 木冶正人

事例発表④ 岡山県高梁市 平川渡り拍子保存会「渡り拍子」

会長 平木宗夫

★パネルディスカッション

「民俗芸能で広がる子どもの世界～豊かな心を育む文化を次世代へ」

◎コーディネイター

小島美子 (国立歴史民俗博物館名誉教授)

○パネラー (予定)

飯塚欣彦 (群馬県片品村教育委員会教育長)

加藤栄子 (東京都墨田区立二葉小学校教諭)

田村 学 (国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官)

併文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)

星野 紘 (東京文化財研究所名誉研究員)

出演団体紹介

●北海道・東北ブロック 青森県八戸市 南部駒踊

古来、青森県の南部地方は優秀な馬を多く産する地方として知られていた。春から秋にかけて放牧によってのびのびと育った馬を、冬の訪れる前に馬小屋に連れ帰らなくてはならない。広大な牧場の中で荒々しく育った馬を追い回し、これを捕らえるのは当時大変な仕事だった。この仕事を「野馬捕り（のまどり）」という。「駒踊」は、この野馬捕りの様子を芸能化したものであるという説がもっとも有力である。

今回は「駒踊」の他に、付踊（つけおどり）の「扇舞」と「七ッ道具」、合せて3つの演目を発表する。付踊は、野馬捕りが無事に終了した事を喜んで踊った、祝いの舞である。

高館駒踊保存会

荒谷誠哉 佐々木美穂 木村彩音 八田瑞希 荒川瀬菜 小国真生 佐藤美月 中村宜央 北上滉一
佐々木花菜 河原木樹 矢幅玲香 飛澤亜美 山田貴大 深川 和 河原木意 矢幅祐真 小笠原恵司
西山康一郎

●関東ブロック 神奈川県三浦市 いなりっこ

「いなりっこ」とは、稲荷信仰の行事の一つで、稲荷講がなまったものといわれている。子どもたちが狐、ひょっとこ等の面をつけて舞いや茶番劇を披露するようになったもので三崎の海南神社に奉納されている「面神楽」の子ども版として地域に親しまれてきた。現在「いなりっこ保存会」は、毎年10月のいなりっこ発表会と2月11日に海南神社で奉納している。「いなりっこ」の活動を通じて子どもたちが郷土芸能に触れ、三浦の伝統や文化を継いでもらうとともに、練習の中から青少年の健全育成、仲間作り、協調性等を深める機会とすることを目的としている。

三浦いなりっこ保存会

阿曾聖矢 坐古明依 水上 融 鳥井渚生 永井里沙 抱井えい 菖蒲夕希 黒田翔馬 坐古留奈 永井美沙
抱井さとの 板倉紗姫 中沢りんご 板倉 快 湊不二雄 坐古善光

●関東ブロック 神奈川県小田原市 小田原囃子

小田原市内扇町（多古）の白山神社に伝わる小田原囃子は、江戸葛西ばやしの系統に属し、江戸と文化交流の盛んだった小田原には早くから伝わっていたようである。多古では江戸中期頃、当時寺町にあった歌舞伎小屋「桐座」の囃方からお囃子好きな近隣の若い衆が習い覚えたものだと言われている。構成は、笛一人、鉦一人、大太鼓一人、小太鼓二人の五人囃子が基本とされる。曲目は「屋台」「聖天」「神田丸」「鎌倉」「仕丁目」など。にぎやかさの中にどこか哀愁を帯びた旋律は、故郷の祭りへの郷愁をそそるものがある。

小田原囃子多古保存会

天野未来 天野有佳 堀内勇太 永井のぞみ 米山幸江 米山功一 久保田望 平片佑典 滝本実行
滝本実里 望月日和理 喜多直歩文 藤曲実樹 梶浦千聖 鈴木雄也 藤木瑠奈 小野優弥 山田 栞
森谷陽子 菊田ゆず 石黒海由 渡邊ゆめの 藤曲咲樹 藤木ひかり 佐藤萌依 小野裕規 藤曲至樹
井上 諒 望月愛未 下田誠一 添田易司 江藤一雄 磯崎照久 尾崎澄子

●近畿・東海・北陸ブロック 富山県氷見市 氷見網起し木遣り

「木遣り」は、古来より木をひき、材木を運搬し「がめかち（建物の基礎の石を打ち固める作業）」を打つときに唄われたものであるが、江戸末期に富山県氷見浦一帯ではマグロ・ブリ漁の重い網を起す（舟に網を引き上げる）ためにこの木遣りが唄われた。以来、「氷見網起し木遣り」と呼ばれている。特徴は、唄と太鼓に合わせて女性の踊り手が白と青の布を振って波を、男性は櫂を持って船を定置網までこぎ、網起しをする様子を踊りで表現する。現在、小学生から中学生までの部員で活動しており、練習は月曜日と土曜日の週2回、保存会の皆さんから指導を受けている。

氷見網起し木遣り保存会子供会

最上梨奈 長井美佳 石田直也 松岡愛美 池田圭吾 石田紘之 山口雄大 松崎果奈 角地正成 松岡菜摘
池田晃陽 石田雄大 最上紗希 石田真子 堀 威吹 田中真生 田中千真 角地亜友 山本愛羅 前沢郡司
二谷 稔



●近畿・東海・北陸ブロック 奈良県曽爾村
曽爾の獅子舞

曽爾村に伝承されている獅子舞は、村内の氏神である門僕神社の例祭に奉納される。現在は、3つの大字「長野奉舞会」「今井奉舞会」「伊賀見奉舞会」で伝承されている。研究者によると、伊勢大神楽のアクロバット、つまり曲芸的舞の原点に最も近い形で残っていると高く評価されている。舞は、御幣と鈴を持って舞う「神楽舞」や剣を持って舞う「悪魔払い」、激しく舞う「荒舞」など様々である。曽爾中学校では総合的な学習の時間で「曽爾の獅子舞」を各奉舞会の指導のもと年間を通して体験学習を行っている。

曽爾村立曽爾中学校

石井真介 渡邊真之介 酒井彰太 森 忍 奥田勝啓 酒井ゆりあ 首藤はるか 吉仲 涼 政木篤弘
 河原将太 辻 大樹 岡田熙侃 新宅祐介 松井遼平 松田拓也 廣瀬裕司 中谷和加子 岡本拓也

●中国・四国ブロック 島根県益田市
石見神楽

「石見神楽」は、島根県西部の石見地方に伝わる神楽で神話を題材にした演目が多い。楽は大太鼓、小太鼓、笛、手拍子（鉦）の4人の楽士で演奏され、明治以後その調子、リズムは八調子と呼ばれるテンポの速いものとなっている。高津神楽社中子ども神楽部は、後継者育成のために昭和60年に発足、部員20名で毎週金曜日に社中の団員より指導を受け練習を行っている。今回の演目「益田越中守」は、地元益田城の第15代当主兼堯の活躍を益田市にゆかりの深い雪舟との出会いをあわせて描いた創作神楽である。

高津神楽社中子ども神楽部

川上知宏 宮川拓也 宮川侑也 斉藤大輔 栗山祥己 安達元貴 村上 誠 斉藤貴文 永井佑樹 澄川武史
 藤原博美 村上 勇 石川泰弘 藤原澄男 伏谷宣敏

●九州・沖縄ブロック 福岡県柳川市
沖端水天宮舟舞台囃子

毎年5月の3、4、5日の3日間に亘り行われる沖端水天宮祭では、神社横の掘割に三神丸と名付けられた舟舞台を浮かべ、芝居や水天宮囃子が奉納される。沖端は旧藩時代より長崎、天草との交易港として栄えた町で、古典的囃子の中に異国情緒が交じりあい南国風の音色から別名「オランダばやし」とも呼ばれている。曲は、流れに逆らう勇壮活発な「上り」、流れはゆるやかなれど変化に富んで華やかな「下り」、落ち着いた中に静けさと美しさを持った「留り」の三曲で構成されている。楽器は三味線、つり太鼓、締め太鼓3個と横笛で演奏される。

舟舞台囃子保存会

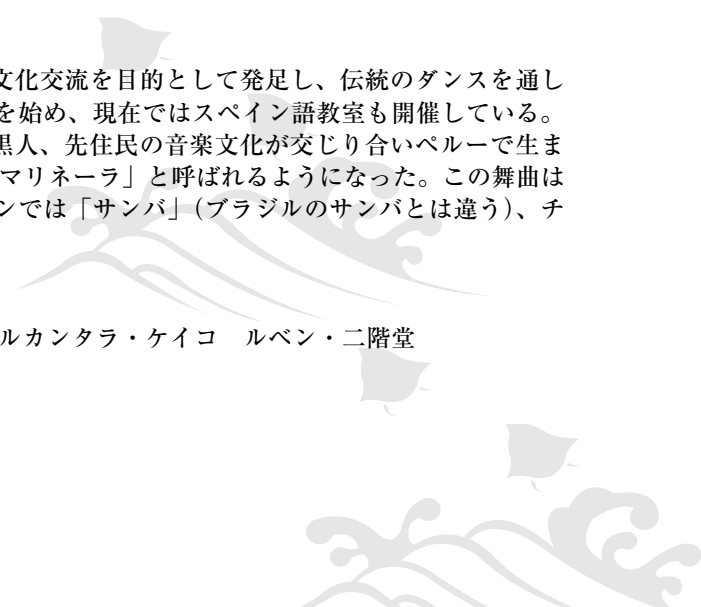
岡 美望 中尾 侑 中尾文香 山崎 栞 松本早世 城戸恵李花 河村幸輝 古賀 雅 古賀実穂 山口りな
 山崎まみ 杉原香奈 黒田晴香 松藤奈保 松本花奈 北原梓沙 山田千帆 田中彩聖 山田彩乃 梶山早希
 近藤潤三 大橋三俊 河村伸士 池上美穂 小宮由加

●在日の海外芸能団体 滋賀県大津市
ペルーの民族舞踊

日本・ペルー文化実行委員会は、2001年に日本とペルーの文化交流を目的として発足し、伝統のダンスを通してペルーの文化を広める目的で2003年の9月よりダンス教室を始め、現在ではスペイン語教室も開催している。今回披露する「マリネーラ」は、18世紀後半にスペイン人、黒人、先住民の音楽文化が交じり合いペルーで生まれた舞曲「サマクエカ」が前身で、後に海軍の活躍を讃えて「マリネーラ」と呼ばれるようになった。この舞曲は近隣諸国にも広がり、ボリビアでは「クエッカ」、アルゼンチンでは「サンバ」（ブラジルのサンバとは違う）、チリでは「チレーナ」と名を変えて根付いている。

日本・ペルー文化実行委員会

佐藤ナミエ 佐藤ナルミ 石崎ネナ ロドリゲス・ハルミ アルカンタラ・ケイコ ルベン・二階堂
 ジャケリネ・チャベス 景山好江 小林政仁



全国こども民俗芸能大会これまで歩み

平成11年度(1999年)

第1回こども民俗芸能大会『キッズ21～お祭りわっしょい』

平成11年9月26日(日)

東京都児童会館(東京都渋谷区)

出演団体

- 貫井囃子：貫井囃子保存会(東京都小金井市)
- 獅子舞：田名八幡宮獅子舞保存会(神奈川県相模原市)
- エイサー・獅子舞：琉球國祭り太鼓東京支部(東京都杉並区)
- 高円寺阿波踊り：東京飛鳥連(東京都杉並区)
- チャッキラコ：ちゃっきらこ保存会(神奈川県三浦市)

平成12年度(2000年)

第2回こども民俗芸能大会『こどもたちの舞い・踊り』

平成12年8月19日(土)

東京都児童会館(東京都渋谷区)

出演団体

- 雅楽：瑞穂雅楽会(東京都葛飾区)
- 阿波踊り：経堂むらさき連(東京都世田谷区)
- 獅子舞：大島諏訪明神獅子舞保存会(神奈川県相模原市)
- 和太鼓：相模龍王太鼓保存会少年部(神奈川県相模原市)

平成13年度(2001年)

第3回こども民俗芸能大会

『こどもからこどもへ伝え継がれた神楽と踊り』

平成13年8月19日(日)

東京都児童会館(東京都渋谷区)

出演団体

- 飴屋踊り：長井町飴屋踊り保存会(神奈川県横須賀市)
- 本海番楽：猿倉番楽保存会(秋田県鳥海町)
- 石見神代神楽：上府子供神楽団(鳥根県浜田市)
- 荒馬踊り：世田谷リズムの会(東京都世田谷区)

平成14年度(2002年)

第4回全国こども民俗芸能大会

『北から南から選ばれた芸能大集合～こどものまつり～』

平成14年8月18日(日)

東京都児童会館(東京都渋谷区)

出演団体

- | | |
|---------------|--------------------------------------|
| ①北海道・東北ブロック | 青森県東通村「下北の能舞」：白糠子ども会 |
| ②関東ブロック | 静岡県賀茂村「猿っ子踊り」：賀茂村宇久須柴区子供会 |
| ③東京都 | 北区「稲付の餅搗唄」：稲付千本杵餅練唄・餅搗唄保存会 |
| ④近畿・東海・北陸ブロック | 和歌山県太地町「いさな太鼓」：
太地町民芸保存会こども民芸保存部会 |
| ⑤中国・四国ブロック | 徳島県山川町「山川町神代御宝踊」：神代御宝踊保存会 |
| ⑥九州・沖縄ブロック | 沖縄県平良市「荷川取のクイチャー」：荷川取子ども会 |

平成15年度(2003年)

第5回全国こども民俗芸能大会

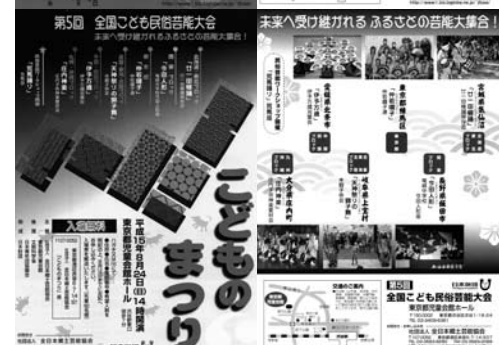
『未来へ受け継がれるふるさとの芸能大集合～こどものまつり～』

平成15年8月24日(日)

東京都児童会館(東京都渋谷区)

出演団体

- | | | |
|---------------|------------------|-------------|
| ①北海道・東北ブロック | 宮城県気仙沼市「甘一田植踊」 | ：甘一田植踊保存会 |
| ②関東ブロック | 長野県飯田市「今田人形」 | ：竜峡中学校今田人形座 |
| ③東京都 | 練馬区「仲若囃子」 | ：仲若囃子連 |
| ④近畿・東海・北陸ブロック | 岐阜県上宝村「天神祭りの獅子舞」 | ：本郷子供会 |
| ⑤中国・四国ブロック | 愛媛県北条市「伊子万歳」 | ：伊子万歳双葉会 |
| ⑥九州・沖縄ブロック | 大分県庄内町「庄内神楽」 | ：庄内子供神楽愛好会 |



平成16年度(2004年)

第6回全国子ども民俗芸能大会

『民俗芸能で広がる子どもの世界～こどものまつり～』

平成16年7月22日(木)

日本青年館大ホール(新宿区神宮外苑)

出演団体

- ①北海道・東北ブロック 岩手県一戸町「根反鹿踊り」：一戸南小学校根反鹿踊り伝承クラブ
- ②関東ブロック 新潟県佐渡市「鷺流狂言」：佐渡市立真野中学校
- ③東京都 板橋区「江戸祭り囃子」：神田流神明囃子保存会
- ④近畿・東海・北陸ブロック 和歌山県下津町「塩津の鯉踊り」：塩津いな踊り保存会
- ⑤中国・四国ブロック 島根県浜田市「石見神楽」：有福子供神楽社中
- ⑥九州・沖縄ブロック 沖縄県石垣市「石垣川平の結願祭」：川平伝統芸能保存会

※「第1回伝統文化研修セミナー」を全国子ども民俗芸能大会の関連事業として

7月21日(水)日本青年館中ホールにて併催。

セミナー内容

基調講演「日本の四季と民俗芸能」

講師：芳賀日出男(写真家)

講話：「学校教育への伝統文化活動の導入」

講師：大熊信彦(文部科学省調査官)

事例発表とパネルディスカッション「民俗芸能で広がる子どもの世界」

○コーディネイター：峯岸 創(洗足学園音楽大学 教授)

○パネラー

大熊信彦(文部科学省調査官)

星野 紘(東京文化財研究所名誉研究員)

○事例発表

「鷺流狂言」加藤 久(新潟県佐渡市立真野中学校教頭)

「石垣川平地区の結願祭」

橋田貴子(沖縄県石垣市立川平小中学校教諭)

「西東京市の幼稚園教育」

八藤後忠夫(文教大学特殊教育研究室助教授)

総合的学習のための理論と実践
教師(小・中・高・特・幼保)と民俗芸能指導者のための
伝統文化研修セミナー
民俗芸能で広がる子どもの世界

7月21日(水)
日本青年館中ホール

12時開演
13時開演

7月22日(木)
日本青年館大ホール

12時開演
13時開演

申込み方法および受講料

受講料：2000円(小学生は1000円)

平成17年度(2005年)

第7回全国子ども民俗芸能大会 第2回伝統文化研修セミナー

『民俗芸能で広がる子どもの世界～こどものまつり～』

平成17年7月25日(月)中ホール：セミナー

26日(火)大ホール：本大会

(財)日本青年館 中ホール(スクール：100席)

大ホール(1,360席)

セミナー内容

基調講演Ⅰ「子宝を育てよう」

講師：芳賀日出男(写真家)

基調講演Ⅱ「子どもたちの心身を開く民俗芸能」

講師：小島美子(国立歴史民俗博物館名誉教授)

事例発表とパネルディスカッション「民俗芸能で広がる子どもの世界」

○コーディネイター：峯岸 創(洗足学園音楽大学 教授)

○パネラー

大熊信彦(文部科学省調査官)

小島美子(国立歴史民俗博物館名誉教授)

星野 紘(東京文化財研究所名誉研究員)

○事例発表

「黒川能」井上康子(山形県櫛引町立櫛引東小学校教頭)

「広大寺」阿部陽一(新潟県栃尾市立中野俣小学校教諭)

出演団体

- ①北海道・東北ブロック 山形県櫛引町 「黒川能」：櫛引町立櫛引東小学校
- ②関東ブロック 新潟県与板町 「与板民謡」：与板民謡たちばな会
- ③関東ブロック 新潟県栃尾市 「広大寺」：栃尾市立中野俣小学校
- ④近畿・東海・北陸ブロック 三重県津市 「唐人踊り」：子ども唐人・唐人踊を継ぐ会
- ⑤中国・四国ブロック 山口県美和町 「釜ヶ原神楽」：北門子ども神楽
- ⑥九州・沖縄ブロック 長崎県長崎市 「滑石竜踊り」：滑石竜踊り保存会子供竜踊
- ⑦協会会員枠 広島県北広島町 「有田神楽」：有田子ども神楽団

第6回 全国子ども民俗芸能大会
民俗芸能で広がる子どもの世界

平成16年7月22日(木)
14時開演
日本青年館大ホール

入場無料

第6回 全国子ども民俗芸能大会
民俗芸能で広がる子どもの世界

第6回 全国子ども民俗芸能大会
民俗芸能で広がる子どもの世界

第7回 全国子ども民俗芸能大会
民俗芸能で広がる子どもの世界

2005年7月26日(火)
日本青年館大ホール
12:30開演 13:00開演

入場無料

第7回 全国子ども民俗芸能大会
民俗芸能で広がる子どもの世界

7月25日(月)
日本青年館中ホール

12時開演

7月26日(火)
日本青年館大ホール

12時開演

7月28日(木)
日本青年館大ホール

12時開演

平成18年度(2006年)

第8回全国こども民俗芸能大会 第3回伝統文化研修セミナー

『民俗芸能で広がる子どもの世界～こどものまつり～』

平成18年7月29日(土) 中ホール: セミナー

30日(日) 大ホール: 本大会

(財)日本青年館 中ホール(スクール: 100席) 大ホール(1,360席)

セミナー内容

基調講演Ⅰ「子どもの年中行事～12ヵ月」

講師: 芳賀日出男(写真家)

基調講演Ⅱ「学校・家庭・地域の連携」

講師: 伊野義博(新潟大学教授)

事例発表

「滝沢の放歌踊り」 松島一晃(静岡県浜松市立都田中学校教諭)

「八王子車人形」 鈴木佳代子(東京都八王子市立由井中学校職員)

「正調土ねり節」 桑原豊行(石川県加賀市立黒崎小学校教諭)

「鶏舞」 丸 昌孝(青森県十和田市沢田鶏舞保存会講師)

パネルディスカッション「豊かな文化を育むための～地域・学校における世代間交流」

○コーディネイター: 峯岸 創(洗足学園音楽大学 教授)

○パネラー

伊野義博(新潟大学教授)

小島美子(国立歴史民俗博物館名誉教授)

高須 一(文部科学省調査官)

中村 哲(兵庫教育大学教授)

星野 紘(東京文化財研究所名誉研究員)

出演団体

- ①北海道・東北ブロック 青森県十和田市 「鶏舞」: 沢田鶏舞保存会
- ②関東ブロック 茨城県利根町 「利根地固め唄」: 利根地固め唄保存会
- ③東京ブロック 東京都八王子市 「八王子車人形」: 八王子市立由井中学校三味線部
- ④近畿・東海・北陸ブロック 奈良県山添村 「御殿万歳」: 山添御殿万歳こども教室
- ⑤中国・四国ブロック 島根県邑南町 「石見大元神楽」: 市木楳尾子ども神楽団
- ⑥九州・沖縄ブロック 熊本県玉名市 「伊倉仁○加」: 伊倉仁○加保存会
- ⑦協会会員枠 鳥取県鳥取市 「麒麟獅子舞・さいとりさし」: 中ノ郷伝統芸能くらぶ
- ⑧在日海外団体 東京都目黒区 「インドネシアの芸能」: 東京インドネシア共和国学校



平成19年度(2007年)

第9回全国こども民俗芸能大会 第4回伝統文化研修セミナー

『民俗芸能で広がる子どもの世界～親子でたのしむこどものまつり～』

平成19年7月28日(土) 中ホール: セミナー

29日(日) 大ホール: 本大会

(財)日本青年館 中ホール(スクール: 100席) 大ホール(1,360席)

セミナー内容

基調講演「世界の子どもたちの祭り」

講師: 芳賀日出男(写真家)

事例発表

「鹿子躍・鶏舞」 三宅茂雄(岩手県一関市立舞川小学校教諭)

「いなりっこ」 湊不二雄(神奈川県三浦市三浦いなりっこ保存会会長)

「御殿万歳」 都築進(愛知県西尾市立西野町小学校教諭)

「淀江さんご節」 奥田晃巳(鳥取県米子市淀江さんご節保存会事務局)

パネルディスカッション「豊かな心を育む文化を次世代へ～見直そう、地域文化としての民俗芸能」

○コーディネイター: 小島美子(国立歴史民俗博物館名誉教授)

○パネラー

藤富美子(東京学芸大学教授)

菊地和博(東北芸術工科大学准教授)

田村 学(文部科学省調査官)

宮田繁幸(東京文化財研究所無形文化遺産部部長)

出演団体

- ①北海道・東北ブロック 北海道神恵内村 「松前神楽」: 神恵内松前神楽保存会
- ②関東ブロック 静岡県浜松市 「滝沢の放歌踊り」: 浜松市立都田中学校
- ③東京ブロック 東京都新宿区 「江戸の祭り囃子」: 戸塚囃子保存会
- ④近畿・東海・北陸ブロック 愛知県西尾市 「御殿万歳」: 西尾市立西野町小学校御殿万歳クラブ
- ⑤中国・四国ブロック 広島県尾道市 「御調神楽」: 尾道市立上川辺小学校子ども神楽教室
- ⑥九州・沖縄ブロック 鹿児島県天城町 「鳥唄・六調」: 天城子宝六調バンド
- ⑦協会会員枠 岩手県一関市 「鹿子躍・鶏舞」: 一関市立舞川小学校
- ⑧在日海外団体 東京都 「インドの伝統芸能」: コンテンポラリー・ナティヤム・カンパニー





●近畿・東海・北陸ブロック

曾爾の獅子舞

奈良県曾爾村 曾爾村立曾爾中学校



●中国・四国ブロック

石見神楽

島根県益田市 高津神楽社中子ども神楽部



●九州・沖縄ブロック

沖端水天宮舟舞台囃子

福岡県柳川市 舟舞台囃子保存会



●在日の海外芸能団体

ペルーの民族舞踊

滋賀県大津市 日本・ペルー文化実行委員会



東京・明治神宮外苑

全会議室(18室)ブロードバンド対応!



- 宿泊 81室 (和40・洋29・和洋12) 400名
- 会議・研修 大ホール(1,360席)、他18室
- 婚礼・宴会



洋室



和洋室



A-ONE会議室

**日本青年館
ホテル**

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘7-1
TEL:03-3401-0101 FAX:03-03404-0611
<http://www.nippon-seinenkan.or.jp>
E-mail:hotel@nippon-seinenkan.or.jp

富士山麓・山中湖畔1,000mの別天地



- 宿泊 61室 (和29・洋30・和洋2) 330名
- 会議・研修 10室 (18~150名)
- その他 大浴場 中国菜館「湖林」 体育館
野外炊飯場、駐車場完備



新館洋室



大浴室



ホール



**山中湖畔
ホテル清溪**

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村旭日丘
TEL:0555-62-0020 FAX:0555-62-4460
<http://www.nippon-seinenkan.or.jp>
E-mail:seikei@nippon-seinenkan.or.jp

スタッフ
構成・演出
照明
音響
舞台監督
舞台進行
宣伝美術
記録写真
記録映像
制作

(社)全日本郷土芸能協会
齊藤正雄
中村基
笹生昭 小野瀬孝志
高橋芳秀 泉純子 中野倫子
牛久保滋
松井聡
(有)オフィスト・O
(社)全日本郷土芸能協会
森下春夫 西田昌代 小岩秀太郎

第10回全国こども民俗芸能大会

民俗芸能の広がる世界



全日本郷土芸能協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 6-7-14 パークハウス赤坂氷川 102
TEL 03-3583-8290 FAX 03-3583-2089
HP <http://www.jfpa.jp/> e-mail info@jfpa.jp